

☆チーム一人ひとりが  
危機管理意識をもつ！  
・リスク・マネジメント  
・クライシスマネジメント  
○ 日常的に「最低・最悪の場面」  
を想定して行動する！

学校は失敗するところ！ 教室は間違えるところ！

知：自ら学び考え判断し、協働して問題解決を図る子

授業は子供が主人公！ 誰一人取り残さない！

自らの人生（運命）を自らの力で切り拓き、これからの社会の創造を担う人間の育成

～グローバルに考え、ローカルに実践しようとする子～  
子供の成長を教育活動の、ど真ん中におく！

情：自らのよさを見つめ、他者を尊重し、  
共によりよく生きようとする子

意：自らすすんで挑戦し、最後までやり遂げる子

体：自らすすんで心と体をきたえ、  
たくましく生きる子

チーム拝島二小・チーム力の結集

○最低最悪の場面を想定

チーム拝二小で、児童のため 家庭のため、地域のため、市民のため！ One for all. All for one. ザ・チーム拝二小で前進！

この出会いを大切に、共に次世代を担う子供を  
力強く育成すべく、推進していきましょう！

「ワーキンググループ」ではなく、共通の目的・目  
標・アプローチの共通理解・実践できる「チーム」へ！

家族・健康第一優先！ 明るく、  
爽やかな風になってください！

「仕事とは！」他者との関わり合いの中  
で、自分の人生を刻んでいく道程です！

I 仕事の仕方指針

i 報告・連絡・相談は迅速かつ正確に  
行う。（「これぐらいは、いいや」、「た  
いしたことではないから…」という安  
易な判断が大きな失敗を起こす。）+報  
告の際は、できれば判断も示す。

ii 苦情・相談・報告等を受けたら、  
副校長に声をかけ、校長室で迅速に  
報告する。+解決策があれば、同時  
に提案する。⇒共通理解が必要な事  
項は、翌日の職員朝会で報告する。

iii 子供や保護者を巡る  
トラブル（喧嘩、物かく  
し、いじめ、誹謗中傷）  
は、必ず学年の教員・主  
任・管理職に報告する。

II 組織指針・チーム拝島二小 「議論できる」チームへ

◇ ザ・チーム拝二小を創る：「チーム  
ビルディング」＝「共通の目的」、「目的を  
達成するための具体的な目標」、「アプ  
ローチの仕方」を共有し、共通理解・実践を  
図っていき、令和3年度拝二小チームを創造  
していく。

◇ 感情を伝え合う：「ありがとう、よかったよ、素  
晴らしい、助かったよ」等の感情を伝え合う。  
◇ 対話・議論する組織：『子供の成長のため！』を  
共通目的に積極的に話し合い、議論していく。  
◇ 異なる価値観を認める：「理由・背景を明確にし、  
互いを認め、尊重する。」 Respect

◇ 組織感度を高める：そのた  
めには、一人一人が社会状  
況・変化、未来予測に対する  
情報を敏感にキャッチし、伝  
え合い、組織感度を高める。

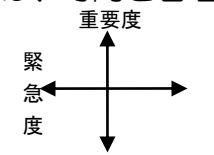
V チーム拝二小のPDCA サイクル化

- 1 年度当初、学校経営方針等を踏まえ、「育てたい児童像」、  
「学年経営方針」を確定する。学期末・実施後に評価・改  
善を実施する。
- 2 拝二小スタンダード及び年間指導計画に基づいた授業実  
践をする。単元に入る前、必ず、学年・専科または、プロ  
ックで指導計画を（授業をどう進めていくか）確認し、必要で  
あれば修正を図り、実施する。実施後（単元終了後）、修  
正が効果的である場合には、指導計画（データ）に朱を加  
え、改善する。
- 3 学習指導はもとより、生活指導・生き方指導においても、  
学年・専科または、ブロックで児童に指導する。。

業務遂行の大原則

タイムマネジメント：タイムマネジメントとは、時間を管理  
することではなく、仕事の管理である。

- 1 計画性をもって重要度の高い・緊急度  
が高い業務から順に行っていく。
- 2 業務遂行のための最短ルート見付けて素早く進める。
- 3 仕事は結果がすべてだと心得ること。



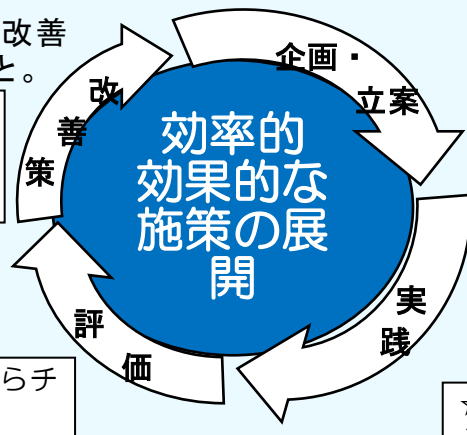
○よほどの問題で  
はない限り、自分  
の身の回りで発  
生する問題は、自  
分の態度を変え  
るだけで解決す  
る。（自分が変わ  
れば、周囲も変わる。）  
○絶えず自分の成  
長を実感する！

○すべての失敗は、  
学ぶための絶好  
の機会である。  
○ミスをしたとき  
に自分にやさし  
くしよう。（思考停  
止は何もならな  
い・自虐）そうす  
れば将来、ミスが  
避けられる。

○悲観主義者は  
どんな機会を  
与えられても  
困難を見付け、  
楽観主義者は  
どんな難しい  
状況でも機会  
を見付ける。  
〈ウィンストン・  
チャーチル〉

III 業務のPDCA サイクル

1 絶え間ない改善  
を図っていくこと。  
☆自分のフィル  
ターを通す。「自分  
はどう考えるか」  
3 チームを絶  
えず意識する  
こと。  
☆自分で解決からチ  
ームで解決へ！



2 「なぜ、どうし  
て？」を3回以  
上、問うこと。  
☆「なぜ」と問う  
ことにより、深い  
洞察ができる！  
4 報告・連絡・相  
談を徹底するこ  
と。  
☆失敗を恐れない！＝ほ  
うれん草を徹底しておく。

IV 働き方指針

「嘘はつかないこと、約束は守ること、礼儀正しくすること、  
間違えたら誤ること」「TPO に応じた服装をすること」  
1 『主体性をもって仕事に当たる』こと。圧倒的当事者意識！  
2 自分に与えられた使命は何か？施策の背景・意義・意味を  
正しく理解すること。  
3 与えられた仕事の中でどれを優先させるのか、どれを先送  
りにするのか、を判断すること。  
4 ワークライフ・バランス（定時退庁日の遵守・ムリな残業  
ゼロ）の尊重と生産性の向上  
◇ 質より鮮度 ◇ 適切な進行管理